

(申請書情報)

令和4年度採用分 海外特別研究員 申請書

受付番号			
審査区分	①書面合議・面接審査区分		
	②書面審査区分		
	③小区分名		
	④小区分コード		⑤専門分野

⑥研究課題名	(和文)
	(英文)

1. 申請者情報等

(所属機関コード:)

⑦氏名	登録名	(フリガナ) (姓) (名)
		(漢字等) (姓) (名)

⑧大学院 博士課程 (出身または在学)	入学年月	(西暦) 年 月 入・進学
	大学名	国内の大学 / 海外の大学
	研究科名	
	課程種別	
	修了・退学等	(西暦) 年 月 修了 / 単位取得済満期退学 / 中途退学
	学位	(西暦) 年 月 日
学位付記 専攻分野		

⑨学歴 (学部、 修士、博士)	<p>西暦で記入してください。 「大学院博士課程」欄の記載と相違のないように してください。</p>
--------------------	--

⑩研究・職歴等 研究・職歴等の 別紙の有無	<p>JSPS特別研究員、フェローシップの採用歴も含めて、西暦で記入してください。 特別研究員の採用歴を入力する場合は、記載方法が指定されていますので、JSPS 申請書作成要領を必ずご確認ください。</p>
有 / 無	就職日 (大学等研究機関の任期に定めのない常勤研究職) (西暦) 年 月 日

⑪現在の 所属機関	所属機関名	<p>「現在の受入研究者」のコメント欄にあるコードを参照の上、入力してください。</p>		
	部局名	種別		
	職名	任期の有無	無 / 有	

申請者登録名

⑫申請時点における身分	(プルダウン) (1) 我が国の大学等学術研究機関に所属する研究者 (2) 我が国の大学等学術研究機関に所属する研究者を志望する者
⑬海外特別研究員終了後の進路	全申請者の必須項目です。「我が国の大学等学術研究機関、国公立試験研究機関等に所属する常勤研究者を志望する」でも構いませんが、なるべく具体的に記載してください。

⑭派遣を希望する期間	(西暦) 年 月 日 ~ (西暦) 年 月 日 (2年間)
⑮派遣国	派遣開始日は、2021年4月1日から2022年2月28日までの間です。
⑯海外における受入の大学等研究機関での身分	英文で記載してください。 例)Postdoctoral Fellow, Research Fellow

⑰現在の受入研究者	氏名	(フリガナ) (姓) (名)
	科研費研究者番号	部局コードは、以下のとおり入力してください。 ○理学院：(コード)0044/(部局種別)「その他」を選択し、「院」と入力 ○工学院：(コード)0056/(部局種別)「その他」を選択し、「院」と入力 ○物質理工学院：(コード)2498/(部局種別)「その他」を選択し、「院」と入力 ○情報理工学院：(コード)0731/(部局種別)「その他」を選択し、「院」と入力 ○生命理工学院：(コード)0142(/部局種別)「その他」を選択し、「院」と入力 ○環境・社会理工学院：(コード)2499/(部局種別)「その他」を選択し、「院」と入力 ○科学技術創成研究院：(コード)2506/(部局種別)「その他」を選択し、「研究院」と入力 ○地球生命研究所：(コード)2416/(部局種別)「附置研」を選択 ○元素戦略研究センター：(コード)9999、部局名を手入力/(部局種別)「附置研」を選択
	所属機関名	
	部局名	
	職名	
⑱出身大学院の研究指導者	氏名	(フリガナ) (姓) (名) (漢字またはローマ字) (姓) (名) 外国人の場合、ローマ字入力。
	所属機関名	国内の機関 / 海外の機関
	職名	修了当時の職名を記載してください。
⑲海外における受入研究者	氏名	(FAMILY NAME) (First Name) (Middle Name) (英文) 海外受入研究者が日本人の場合 (漢字等) (姓)
	職	(英文) (和文)
	受入機関名	(種別) 大学 / 国公立試験研究機関 / 非営利の民間研究機関 (英文) (和文)
	受入部局名	(英文) (和文)
		以下のとおり記載してください。 Family name : 全て大文字 First name : 頭文字のみ大文字 Middle name : アルファベットのイニシャルと省略記号「.」

⑳ 評価書作成者	氏名	(フリガナ) (姓) (名) (漢字またはローマ字) (姓) (名) 外国人の場合、ローマ字入力。
	所属機関名	国内の機関 / 海外の機関
	部局名	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>評価者が本学教員の場合、「現在の受入研究者」のコメント欄にあるコードを参照の上、入力してください。</p> </div>
	職名	
㉑ 研究活動における主な使用言語		
㉒ 外国での研究遂行能力について (語学能力の確認)	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・前項に記載した全ての言語について、具体的に説明してください。(語学検定試験の結果を記載する場合は、取得年月も記入すること。) ・申請時点で相応の語学能力に達していない場合は、派遣開始までの語学研鑽の計画を具体的に記入してください。 </div>	
㉓ 海外における研究・留学歴	訪問先： 目的：	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>渡航目的が「研究遂行」の場合、渡航・滞在費等の財源を記入し、自ら獲得したものであるかわかるようにしてください。 例：自費、研究代表者としてとして獲得した科研費、等。</p> </div>
	期間：(西暦) 年 月 日 ~ 年 月 日	
	訪問先： 目的：	
	期間：(西暦) 年 月 日 ~ 年 月 日	
㉔ 海外特別研究員制度における支援の必要性	過去に海外での研究経験 (国際会議、学会発表等を除く。)がある場合、又は、派遣を開始する予定日より前に、既に海外の研究機関において研究を行っている場合は、本制度において支援を受けなければならない理由について以下に説明してください。(800文字以内、改行は5回まで入力可)	
	【過去に海外での研究経験を有する場合又は既に海外で研究に従事している場合のみ記入】	